

一般社団法人

日本抗加齢
医学会の
ご案内

答えは
抗加齢医学に
あります。

専門領域を超え、人生100年時代を支える
臨床医、研究者、メディカルスタッフの皆さまへ



アンチエイジング

抗加齢医学とは

「メカニズム解明型」から

「臨床応用型学問」へ進化

加齢研究の推進

人生100年時代、

人生設計に長生きリスク対策を

～健康長寿への憧れを現実に～

予防医療・未病医療・ 先制医療への応用

- 専門領域を超えて
患者さんサポートの必要性に応える
- スポーツ／栄養指導／サプリメントなどを活用した
補助的かつ積極的な人々の健康生活への介入
- 患者さんの健康意識向上へコミット
- 患者さんの選択的予防行動をサポート
- 笑顔を生む毎日を医学から支える
- 併存疾患を包括的に診る

■ 多領域・多職種で行う 抗加齢医学の 研究と実践

抗加齢 医学の領域

医学・歯学・栄養学・
生物学・物理学・工学・
薬学・化学・農学・
スポーツ運動学・看護学・
社会学・心理学・経済学・
環境学・言語学 など

領域

場

抗加齢医学を 推進する場

病院・研究所・クリニック・
大学・大学病院・
企業・研究機関・自治体・
住居 など

人

抗加齢医学を 推進する人

医師・歯科医師・獣医師・
臨床研究者・基礎研究者・
看護師・薬剤師・保健師・
管理栄養士・歯科衛生士・
理学療法士・作業療法士・
健康運動指導士・社会福祉士・
臨床検査技師・介護福祉士・
臨床心理士 など

■ 8,471人*の同志

医師/歯科医師

53%
実地医家

23%
大学機関/病院

メディカルスタッフ

9%

研究者

5%

学生/その他

10%

内科、外科、皮膚科、整形外科、産婦人科、眼科、形成外科、泌尿器科、麻酔科、歯科、など
多領域にわたる構成。医師はもちろん、多領域多職種で仲間が増えることを切に願います。

※2017年11月時点の会員数

学術総会

各専門領域の進歩を一つのセッションで
知ることができる魅力

抗加齢医学の最先端特別企画!

2018 第18回

■ 特別招請講演

小胞体の機能と制御のダイナミクス

演者 森 和俊 京都大学大学院理学研究科生物物理学教室

■ 特別講演 1

Advances in Technologies to Delay and Reverse Aging in Mice and Humans

演者 David A. Sinclair Dept. of Genetics, Harvard Medical School

■ 特別講演 2

Aging, SASP Inhibitors, and Senolytic Agents

演者 James L. Kirkland Mayo Clinic

■ 会長講演

EA2 –Environment for Anti-Aging –

演者 山田 秀和 近畿大学医学部奈良病院皮膚科, 近畿大学アンチエイジングセンター

■ 理事長提言

快寿社会を目指して

演者 堀江 重郎 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学

2017 第17回

※演者の所属は当時のものです。

■ 特別講演 1

Ketone Bodies and Aging

演者 John C. Newman
Buck Institute for Research on Aging, University of California San Francisco,
Division of Geriatrics San Francisco

■ 特別講演 2

老化、寿命の全身性統御システム「NADワールド」の新展開
–哺乳類NMNトランスポーターの同定と解析

演者 今井 眞一郎 ワシントン大学医学部発生生物学部門・医学部門(兼任)

■ 招待講演 1

人工知能で拓く未来の医療

演者 宮野 悟 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター

■ 招待講演 2

平成30年医療・介護同時改定 toward & beyond

演者 鈴木 康裕 厚生労働省保険局

■ ワークショップ: アンチエイジングによる医療貢献

- 健康長寿の経費は誰の負担とするのか? –保険診療と抗加齢医療–
- 保健医療経済への漢方の貢献
- 睡眠時無呼吸症候群対策による抗加齢効果

第18回 学術総会

2018.5.25 Fri ▶ 5.27 Sun

大阪国際会議場にて

第18回日本抗加齢医学会総会
18th Scientific Meeting of the Japanese Society of Anti-Aging Medicine
第18回日本抗加齢医学会総会
2018年5/25(金)~5/27(日)
大阪国際会議場
A2E:
Anti-Aging Environment
主催 山田 秀和
大阪大学医学部疫学病態学専攻
大阪大学アンチエイジングセンター副センター長
〒565-0871 大阪府吹上区吹上1-10
TEL: 06-6165-6111 FAX: 06-6165-6112 Email: sjyamada@antiaj.or.jp
http://www.mediproduce.com/18jaam
2018年4/10(水)

第18回日本抗加齢医学会総会ポスター

シンポジウムテーマより抜粋

- 光環境とエイジング
- 臨床における薬物療法と腸内細菌
- 臓器年齢と酸化ストレス
- ライフイノベーション 人生100年 医学だけでは成り立たない100歳健康時代
- 再生医療の進歩
- 骨格筋を中心とした臓器・組織の連関について
- 男の価値とテストステロン
- 自動車運転の現在と未来
- 進化する機能性表示食品制度:抗加齢医学への応用
- ポジティブサイコロジー手法による健康長寿の秘訣
- 建築・環境とアンチエイジング
- 見た目がうつくしく老いるには
- 肥満症の多様性—太ること、痩せることの意義を考える—
- 抗加齢医療における統合医療の可能性

専門医教育プログラム

- 専門医が知っておくべき他科の最新医療

専門医・指導士共通プログラム

- 難渋例から学ぶアンチエイジングスキルアップ
- 抗加齢指導士のあり方をめぐって

指導士教育プログラム

- コーチングスキル向上セミナー

若手プログラム

- 感覚器の加齢性変化と疾患制御
- 食事の科学から考える炎症性疾患の理解と制御

実地医家スキルアップセミナー

- アンチエイジングドック最前線、明日から役立つ検査項目の選び方

※今後のプログラム編成によりタイトルなどが変更になる場合があります。ご了承ください。

専門医・指導士資格

■ 認定制度

本学会認定カリキュラムにて抗加齢医学を学び、規定の認定単位を取得し、本学会が実施する筆記試験に合格した場合「日本抗加齢医学会専門医」「日本抗加齢医学会指導士」に認定。



日本抗加齢医学会
認定医療施設認定証

■ 日本抗加齢医学会認定医療施設

認定医療施設には認定証を交付し、学会ホームページや学会誌にて医療機関情報を公開。

■ 資格取得について



池岡 清光 専門医

ご所属

池岡クリニック(大阪市)
院長

専門医になったこと、認定施設をとったことは僕の開業医としての生活を大きく変えました。抗加齢医学は先端的予防医学であり横断的に多くの領域をカバーするので医者としての幅が広がりました。循環器医でありながら認知症や男性更年期の外来をすることになったのは学会から得た知識、考え方の影響が大きいと思います。スタッフと一緒に学会発表をすることも自分の仕事に対する見方を変えました。学んだことをライフスタイルにフィードバックすることも多く、医者だけでなく全体としての僕個人に最も影響を与えているものの一つが抗加齢医学です。



赤澤 純代 専門医

ご所属

金沢医科大学 総合内科
集学的医療部
女性総合医療センター
副センター長

私は、多職種による女性の総合診療に従事しています。女性の永遠のテーマである「美と健康」のために見た目(形成外科・皮膚科領域)から体の血管・臓器(内科・再生医療)の老化まで、サイエンスも実地医療も幅広く学習できました。治療以外に栄養学や運動の知識、機能的食品やサプリメントの活用まで学ぶことができ、患者さんの相談などに対応しやすくなりました。私事ですが、まだエビデンスが確立できていない新しい情報も診療科を超えて学び父親の病気の進行を緩やかにできたことは財産です。老化を学ぶことで老化促進因子の逆を実践しエイジングを緩やかに…。

■ 講習会 e-learning

認定医取得に向けた「受験用講習会」、専門医・指導士としての知識をさらに深めるための「更新用講習会」、そしてこれらのWEBセミナーを提供。さらに、医療現場で実践的な抗加齢指導を推進するための「指導士用講習会」も実施。



日本抗加齢医学会
専門医・指導士認定証



加藤 好子 指導士

ご所属

田中消化器科クリニック
(静岡市)
看護師

抗加齢指導士としてアンチエイジングドック、点滴療法を担当しています。またアンチエイジングに関心がある方には、若々しく健康になっていただけるように最先端の情報をお伝えしています。資格を取得したことで、患者さんから相談を受けた際に自信と誇りを持って対応できるようになりました。患者さんのアンチエイジングドック結果が良くなった時は、私も勇気づけられています。実際に骨密度が低かった私ですが、運動の実施・食生活の改善によりわずかに増えてきました。今後そのような患者さんが増えるよう指導士としてアプローチしていきたいと思います。



小田 慶子 指導士

ご所属

満岡内科・循環器クリニック
(帯広市)
管理栄養士

「抗加齢という中で食事の指導をしてみないか?」という院長の言葉から始まりました。

今までの栄養相談は、食事メモの聴きとりをしながら、食事量と食品の組み合わせ方、食事と運動の生活リズムを把握し、修正・提案をしてきました。抗加齢指導士となり一番に驚いたことは、院長の提案で「緩やかな糖質制限食」を始めたことでした。炭水化物40%は、体重減少・検査値改善につながりました。増減はありましたが、患者さん自身に行動変容と笑顔が見られるようになり、とてもうれしいことでした。「一つ病気があっても元気に生きる」が好きで、よく患者さんに伝える言葉です。

● **脳心血管抗加齢研究会**www.jtbw-mice.com/ccvaa/

循環器病学は、今や臓器や部位別といった研究の枠組みを超え、神経内科、腎臓内科までも視野に入れた、身体を包括的に捉えた研究が必要な領域となっている。本研究会では、脳・心血管疾患領域において、加齢と老化のメカニズム研究を促進し、他専門分野との横断的な臨床および基礎研究を行い、知識・技術向上を図る。

代表世話人 森下 竜一 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学 教授

最近のトピックス

脳心血管加齢の病態における慢性炎症の役割とその分子基盤 (2017大会)

佐田 政隆 徳島大学大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野 教授

加齢による脱毛の仕組みから臓器の老化を考える (2016大会)

西村 栄美 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野 教授

2018年度大会 | 脳心血管抗加齢研究会2018 12月14日(金)15日(土) 大阪

● **見た目のアンチエイジング研究会**www.anti-aging.gr.jp/mitame

加齢現象を考えるとき、大きな変化の表れる「見た目」が1つの指標となる。抗加齢医学領域で、外見へのアプローチとして診療を行うのは、皮膚科、形成外科が主だった専門領域となるが、基礎研究の領域と、臨床で実際に行われていることとの間のディスカッションを深め、加齢における見た目についての介入を研究する会としたい。

代表世話人 塩谷 信幸 北里大学名誉教授

最近のトピックス

内服・外用で見た目は変わるか? (2017年第11回研究会)

山下 理絵 湘南鎌倉総合病院形成外科・美容外科 部長

老けたと言われたらここをチェック (2017年第11回研究会)

白壁 征夫 サフォクリニック院長

2018年度研究会 | 2018年第12回見た目のアンチエイジング研究会 9月9日(日)

● **運動器抗加齢医学研究会**anti-aging.gr.jp/undouki

運動器抗加齢医学は加齢に伴う運動器の機能低下の病態と機序を解明し、食事やサプリメント、運動療法、物理療法、投薬介入など多方面から運動器のアンチエイジングに迫り、有効な方法を探る学問である。本研究会では、運動器とその他臓器の加齢との関連を明らかにして、運動器の機能低下が全身の健康に与える影響についても探求する。

会長 金子 和夫 順天堂大学医学部整形外科教授

最近のトピックス

子どものロコモが高齢者ロコモに及ぼす影響 (2017年第7回研究会)

柴田 輝明 医療法人天徳会 北本整形外科 理事長

サルコペニアのメカニズムとその効果的な予防・改善 (2017年第7回研究会)

石井 直方 東京大学大学院総合文化研究科・新領域創成科学研究科 教授

2018年度研究会 | 2018年第8回運動器抗加齢医学研究会 12月2日(日) 東京

● **抗加齢ウィメンズヘルス研究会**

わが国の特に女性においては人生100年時代がすぐそこまで来ている。めでたいとされる長寿であるが、健康長寿には限りがあり、「長生きリスク」があるのも事実である。そこで、女性ホルモンの低下を背景にした女性の加齢とその対策をみんなで討論し、深めることによって女性の生涯にわたる健康を支援し、健康寿命の延長を現実としたい。

代表世話人 太田 博明 国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授/山王メディカルセンター女性医療センター長

最近のトピックス

女性の加齢における栄養、カルシウム、ビタミンDの重要性 (2017年第10回研究会)

上西 一弘 女子栄養大学 栄養学部 栄養生理学研究室 教授

ロコモティブシンドロームへの対策～高齢者医療のパラダイムシフト～ (2017年第10回研究会)

岩本 潤 慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長

2018年度研究会 | 第11回抗加齢ウィメンズヘルス研究会 11月18日(日) 東京

泌尿器抗加齢医学研究会

www.anti-aging.gr.jp/urological

泌尿器疾患領域は、内分泌からメンタルまでを視野に入れ、抗加齢医学のアプローチによる新しい見方で捉えていく必要性が高まっている。本研究会では、泌尿器疾患での抗加齢医学研究を促進するとともに、泌尿器科医に限らず他の専門分野との横断的な臨床および基礎研究を行い、社会の要請に応じていきたい。

代表世話人 堀江 重郎 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学 教授

最近のトピックス

排尿21秒キープの秘訣(2017年第9回研究会)

松本 成史 旭川医科大学病院臨床研究支援センター副センター長・准教授(兼)
旭川医大インスティテューショナル・リサーチ室室長 旭川医大病院感染制御部副部長

男性力アップ ケトジェニックダイエットってホントにいいの?(2016年第8回研究会)

斎藤 糧三 株式会社日本機能性医学研究所所長

2018年度研究会 | 第10回泌尿器抗加齢医学研究会 12月9日(日) 沖縄

抗加齢内分泌研究会

www.anti-aging.gr.jp/hormone

本研究会は、ホルモンの基礎・臨床に関わる新しい研究を紹介し、健康増進のための各種ホルモンの機能、ネットワーク、相互作用を通じて加齢性変化の研究を促進する。最近ではホルモンの働きが健康寿命の延伸に有効であることも分かってきた。年齢とともに減っていくホルモンをいかに維持していくか、また分泌を増やす生活習慣も提案している。

代表世話人 服部 淳彦 東京医科歯科大学教養部自然科学系生物学 教授

最近のトピックス

男性2型糖尿病患者におけるアンドロゲンの重要性(2017年第9回研究会)

福井道明 京都府立医科大学内分泌・代謝内科学

臓器記憶とメタボエイジング(2016年第8回研究会)

伊藤 裕 慶應義塾大学医学部内分泌代謝内科

2018年度研究会 | 第10回抗加齢内分泌研究会 9月2日(日) 東京

眼抗加齢医学研究会

www.anti-aging.gr.jp/eye

超高齢社会において、感覚器医学の中で最も大切な分野と考えられている眼科学。本研究会では、網膜や角膜といった従来の部位別研究を超えて眼の抗加齢医学を統合して考える眼抗加齢医学研究を目指していきたい。加齢と老化のメカニズム研究を促進するとともに、それを基にした診療体制の構築を会の目的としている。

代表世話人 坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

最近のトピックス

睡眠時無呼吸症候群と緑内障(2017年眼科サミット)

新明 康弘 北海道大学大学院医学研究院眼科学教室

熱ショックタンパク、スベルミジン、カロリー制限と緑内障(2017年眼科サミット)

原田 高幸 公益財団法人東京都医学総合研究所

抗加齢歯科医学研究会

www.anti-aging-dental.com

「食べる、味わう、話す、歌う、笑う」を担う口腔の老化は、身体機能やQOLの低下を招くだけでなく、メンタルヘルスにも影響を及ぼす。本研究会は、歯科医療従事者が中心となって、口腔だけでなく全身、メンタル面を視野に入れたアンチエイジングを歯科医療で実践し、その重要性を広く普及させることを目的としている。

代表 斎藤 一郎 鶴見大学歯学部病理学講座 教授

最近のトピックス

抗加齢歯科医学の基礎知識(2017年第21回研究会)

斎藤 一郎 鶴見大学歯学部

求められる「こころ」を診る歯科医学(2016年第19回研究会)

豊福 明 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 全人的医療開発学講座 歯科心身医学分野

学会刊行物

■ 公認テキスト「アンチエイジング医学の基礎と臨床 改定第3版」

「サイエンスに基づいた抗加齢医学」の視点で、基礎から臨床までを網羅。
本学会HPからクレジット決済でご購入可能です。2015年9月発行。
定価 8,100円(税込)



目次

- アンチエイジング医学の理解
- アンチエイジング医学の展望
- 基礎:遺伝子とアンチエイジング医学/細胞医学とアンチエイジング医学/酸化ストレスとアンチエイジング医学/免疫とアンチエイジング医学/代謝とアンチエイジング医学/ホルモンとアンチエイジング医学/脳とアンチエイジング医学/感覚知覚とアンチエイジング医学/見た目とアンチエイジング医学
- 臨床:アンチエイジングドックにおける検査と評価/メタボリックシンドロームとアンチエイジング医学/アンチエイジング医学に基づく生活習慣改善指導(食事・栄養、サプリメントの機能性、漢方・メディカルハーブ、身体活動、嗜好、睡眠、ストレスマネジメント・リラクゼーション)/アンチエイジング・インターベンション(性差医療、がん、減量外科、美容医療、DHEA療法、キレーション治療)/臓器別アンチエイジング—その重要な疾患の診断と治療のアップデート

■ 学会誌「アンチ・エイジング医学」

これまで専門領域を勉強されてきた方が、アンチエイジングの概念の中で楽しく他分野を学び、一般の方にも正しい医療情報をお伝えすることをめざした学会誌。

隔月年6回 A4版変型150ページ程度で発行。

定価 1,620円(税込)/冊



構成

- 特集:アンチエイジング医学に関する、最新の基礎的/臨床的知見を紹介 ex)「腸とアンチエイジング」「プレジジョンメディスンとアンチエイジング」「免疫老化とアンチエイジング」
- 誌上ディベート:ひとつのテーマについて分野・立場の異なる専門家が「是」と「非」の立場で見解を披露 ex)「ペットを飼う? 飼わない?」「カロリー制限? たんぱく質制限?」「朝食を摂る? 摂らない?」
- その他、総説や寄稿コラムなど多数掲載

■ ネイチャー・リサーチとの共同パブリッシュメント

a natureresearch journal

npj | Aging and Mechanisms of Disease

Editors-in-Chief: Professor Kazuo Tsukuma and Professor Shin-ichiro Inoue

世界中で研究が進んでいるヒトにおける加齢のプロセス、加齢関連疾患、加齢に関連した病態生理の疫学、長寿に関するメカニズムの理解および介入など、すべての関連分野の研究の原著論文および総説を選考の対象としています。 ▶ www.nature.com/npjamd/

入会のご案内

会員には、学会誌を毎月お送りします。
なお海外在住の方には、別途送料を頂くこととなります。予めご了承ください。

種別	対象	入会金/年会費
正会員	タテ割り専門領域を超えた視野の広い活動を行うために、医師のみならず、医生物学の基礎研究者、薬剤師、管理栄養士、看護師、理学療法士など本会を発展させていくために積極的に関わっていた方	入会金 5,000円 年会費 10,000円
学生会員	上記資格に関する分野の大学・専門学校に在籍中の学生の方	入会金 5,000円 年会費 5,000円
施設会員	本会の目的に賛同し、本会の対象とする領域に学術的に関心があり、抗加齢医学研究・診療を実施する施設。	入会金 5,000円 年会費 40,000円(4名まで)
賛助会員	本会の目的に賛同し、支援・援助をしていただけの企業、または団体	詳しくはお問い合わせください

オンライン登録：本会HPよりクレジット決済にて可能。

オフライン登録：入会申込書をHPより取得の上、事務局にFAX/郵送にてお送りください。
クレジット・コンビニ支払いからお選びいただけます。

※詳しくはHPをご覧ください。なお、ご入会の方には、学会誌を全号お届けしております。

理事長より

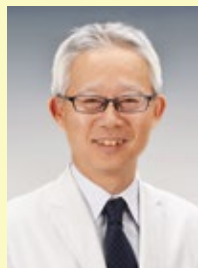
日本抗加齢医学会は、加齢のメカニズムを研究して、健康長寿を実践する医学を推進します。

加齢にともなう人生経験は、人間の成熟を高めてくれます。

われわれは、加齢に価値を置き、高齢者を尊敬する文化を共有しております。

一方、医学的には加齢により、細胞、臓器、そしてヒト個人の活動が低下していきます。この加齢のメカニズムが、DNAや細胞を構成する分子のレベルで徐々に明らかになっています。適切な「抗加齢」的な介入により、加齢によるからだへの影響を防げることが示されています。

抗加齢医学会は、加齢のメカニズムを研究することで、不用意な加齢を防ぎ、健康を高め維持していくことを主眼とする、サイエンスとアートを共有する学会です。



原 重 郎

役員一覧

名誉理事長

吉川 敏一 公益財団法人ルイ・バストゥール医学研究センター理事長

理事長

堀江 重郎 順天堂大学大学院医学系研究科泌尿器外科学教授

副理事長

南野 徹 新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学教授

森下 竜一 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授

山田 秀和 近畿大学医学部奈良病院皮膚科教授、近畿大学アンチエイジングセンター 副センター長

理事

伊澤 純代 金沢医科大学総合内科学准教授、金沢医科大学病院集学的医療部女性総合医療センター副センター長

赤藤 裕 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授

大慈 弥裕之 福岡大学医学部形成外科 教授

太田 博明 国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授、山王メディカルセンター女性医療センター長

木下 茂 京都府立医科大学特任講座感覚器未来医療学 特任教授

斎藤 一郎 鶴見大学歯学部病理学講座 教授

斎藤 英胤 慶應義塾大学薬学部薬物治療学 教授

田中 孝 田中消化器科クリニック 院長

坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

内藤 裕二 京都府立医科大学大学院医学系研究科消化器内科学 准教授

松崎 靖司 東京医科大学茨城医療センター消化器内科 教授

満岡 孝雄 満岡内科・循環器クリニック理事長、院長

柳田 素子 京都大学大学院医学研究科腎臓内科学 教授

山嵜 達也 東京大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学教授

米井 嘉一 同志社大学大学院生命医科学研究科アンチエイジングリサーチセンター 教授

渡邊 昌 生命科学振興会 理事長

監事

市橋 正光 アーツ銀座クリニック 院長、神戸大学名誉教授

田平 武 順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学 客員教授

顧問 (2017年9月現在/卒年順)

杉村 隆 国立がんセンター名誉総長、東邦大学名誉教授

笹森 典雄 牧田総合病院人間ドック健診センター名誉院長

高久 史磨 地域医療振興協会会長、東京大学名誉教授

熊本 悦明 日本メンズ・ヘルス医学会名誉理事長、札幌医科大学名誉教授

渥美 和彦 東京大学名誉教授、日本統合医療学会名誉理事長

塩谷 信幸 アンチエイジングネットワーク理事長、北里大学名誉教授

赤沼 安夫 朝日生命成人病研究所名誉所長

折茂 肇 骨粗鬆症財団理事長、東京都健康長寿医療センター名誉院長、健康院クリニック名誉院長

家森 幸男 武庫川女子大学国際健康開発研究所所長

藤田 哲也 ルイ・バストゥール医学研究センター分子免疫研究所所長

水野 嘉夫 東京歯科大学 監事

日本抗加齢医学会は、
“幸加齢”を願い
“考加齢”する人を増やし
“好加齢”な世の中を実現させます。



日本抗加齢医学会
Japanese Society of Anti-Aging Medicine

一般社団法人 日本抗加齢医学会 事務局

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町6-3 日本橋山大ビル4F

TEL 03-5651-7500
FAX 03-5651-7501
E-MAIL info@anti-aging.gr.jp
WEB www.anti-aging.gr.jp/ ▶

